

● 新年度のあいさつ

福祉のまち**奥州市**をめざして 大きな2つの計画を策定



社会福祉法人
奥州市社会福祉協議会
会長 岩井 憲男

4月1日から、新たな機構による令和3年度が始まりました。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために本会事業も取りやめや縮小を余儀なくされ、新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。このような中でも、地域や関係者の皆様には、本会にご理解とご協力をいただいたことに対して心より感謝を申し上げます。

さて、奥州市社会福祉協議会は、令和2年度に策定した2つの計画のもと、新たな組織機構によって令和3年度をスタートさせました。1つは、効果的な事業執行と市民からの信頼や期待に応える法人経営の確立のための「奥州市社会福祉協議会発展・強化経営計画」、もう1つは、本市の地域福祉の更なる充実のため奥州市と一体的に検討した「第3次奥州市地域福祉活動計画」です。いずれの計画も、令和3年度から5か年の本会運営にとって重要な指針となるもので、令和3年度は、これらの計画を着実に実行し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに向けて「地域共生社会の実現」を更に進め、一層の市民サービスの向上をめざしてまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大は、社会のシステムや人々の生活に大きな影響を及ぼしており、一向に収束の兆しが見えない中、経済・雇用の不安定やテレワークなどの働き方改革、リモートによる授業など教育の在り方も大きな変革が求められています。このままの状況が続くと、所得や雇用・教育機会の減少による様々な格差の拡大がますます懸念されます。そのため、地域福祉の観点から私たちの暮らしに与える影響等について現状を整理したうえで、本会が行う個別の生活を応援・支援していくための活動に力点を置き、見守りや訪問、住民相互の交流活動などについて新たな小地域ネットワーク活動の展開に取り組む必要があります。

私たちは、市民の皆様「社協があつてよかった」と言ってもらえるような信頼される身近な「社協」であるために、今年度も役員一丸となって鋭意努力してまいりますので、市民皆様の更なるご理解、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

- P2.3 令和3年度事業計画
- P4 令和3年度収支予算
- P5 組織と機構
- P6 アナタと私のフクシのあした
- P7 インフォメーション
- P8 社協のおしごと

「共に暮らしお互いを思 ～令和3年度奥州市社会福祉

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに向けて「地域共生

重点

1

第3次奥州市地域福祉活動計画の取組み

～地域の福祉力の向上をめざし、お互いがお互いを思いやる取組み～

①誰もが安全・安心に暮らせる地域づくり

- ・地域セーフティネット会議の普及に努め、お互いに支えあう仕組みを構築します。
- ・災害時の安否確認等に取り組めるよう体制づくりを進め、台帳整備を行います。

②地域の福祉を支える仕組みづくり

- ・福祉情報ガイドブックを作成し、内容が適切に伝わる取組みを進めます。
- ・社会福祉法人の連携をめざし、ネットワーク会議を開催します。

③市民の暮らしや活動を支える体制づくり

- ・福祉関係者との信頼関係を構築し、役割や活動の可視化を進めます。
- ・高齢者や障がい者等の権利擁護を必要とする方が、地域で安心して暮らし続けることができるように一体的・総合的に支援を行います。
- ・どの相談窓口でも包括的に相談を受けることができる仕組みを構築します。



なかよし食堂



災害ボランティアセンター設置運営訓練

新規事業の取組み

市内社会福祉法人の ネットワーク構築への取組み

育児・介護・障がい・貧困などの地域の福祉課題に対して、市内の社会福祉法人と連携しながら、それぞれが専門とする福祉分野の枠を超え、課題解決などを進めるための仕組みづくりとネットワーク化に向けた意見交換を進めます。

地域交流事業 「なかよし食堂」の

地域の方々と子ども・子育て世流する取組みを「なかよし食堂（こ堂）」としてモデル的に指定し、地り一層つながることをめざします。

「いやる地域づくり」

協議会事業計画～



社会の実現」をさらに進め、一層の市民サービスの向上をめざします。

重点

2

「発展・強化経営計画」の実施

—効果的・効率的な組織運営をめざす—

①信頼ある組織・機構づくりと事業推進体制の見直し

- ・機構改革により本所と地域の拠点の効果的な運営をめざします。
- ・事務事業のエコ化を進め、ペーパーレス化とオンライン・リモート等による業務利便性の確保に努めます。

②法人運営と職員管理・育成の強化

- ・全職員が共通の意識を持って、福祉サービスの向上に努めます。

③効果的な事業運営と財政基盤の確立

- ・補助・受託事業の適正化と国庫財源の新規受託等の検討を進めます。

④ニーズに基づいた事業展開と評価及び支援体制の確立

- ・住民主体による地域生活課題の解決にむけ、協働する体制をつくります。
- ・市民サービスの向上に努めます。



地域セーフティネット会議（地図上で要支援者を把握）



障がい者マスクづくり教室

運営

代が交
ども食
域がよ



地域包括支援センターえさし南

（愛宕・田原・藤里・伊手・稲瀬地区）の運営

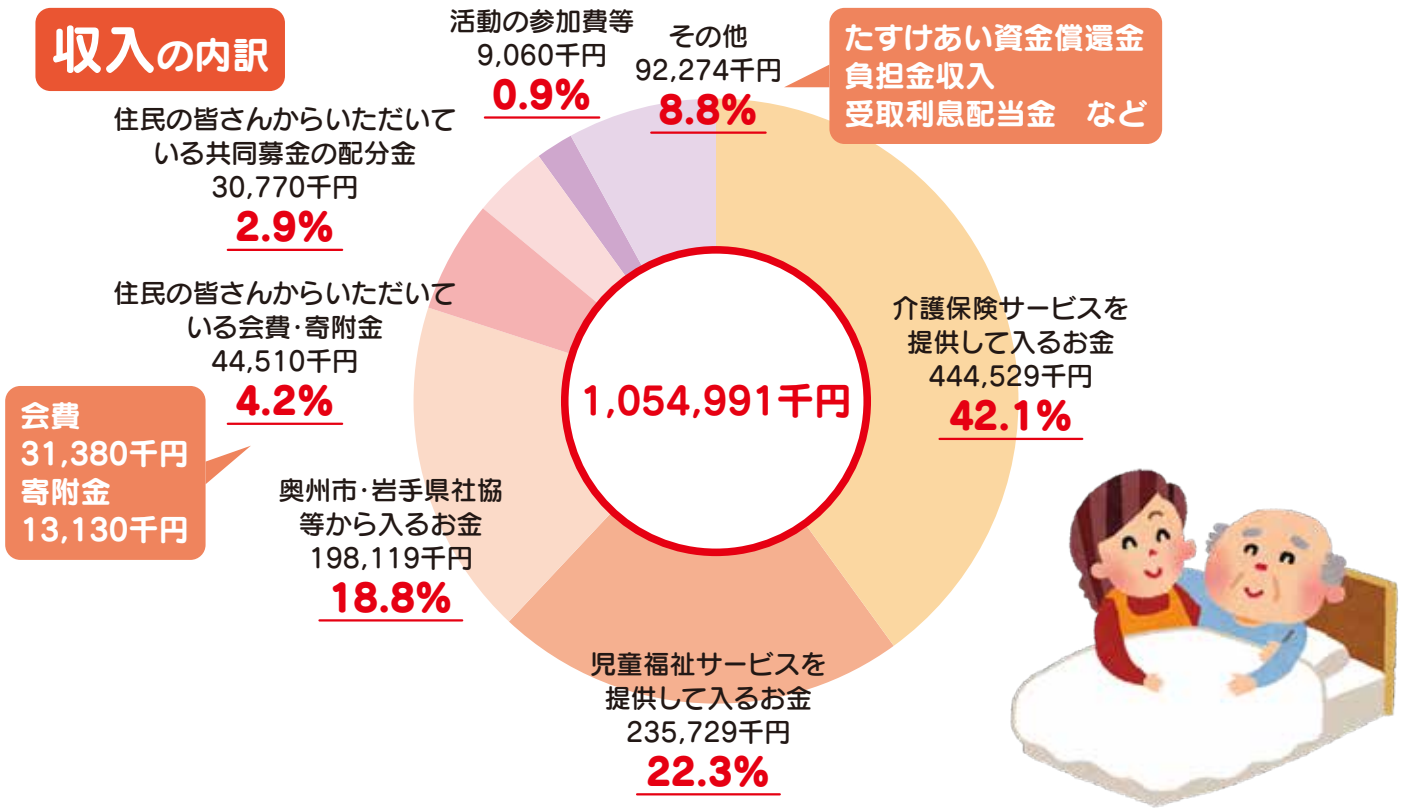
高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心してその人らしい暮らしを続けられるよう、あらゆる相談に対応する身近な総合相談窓口です。

介護予防プランの作成や、認知症などによって判断能力が不十分な方の支援などを行います。

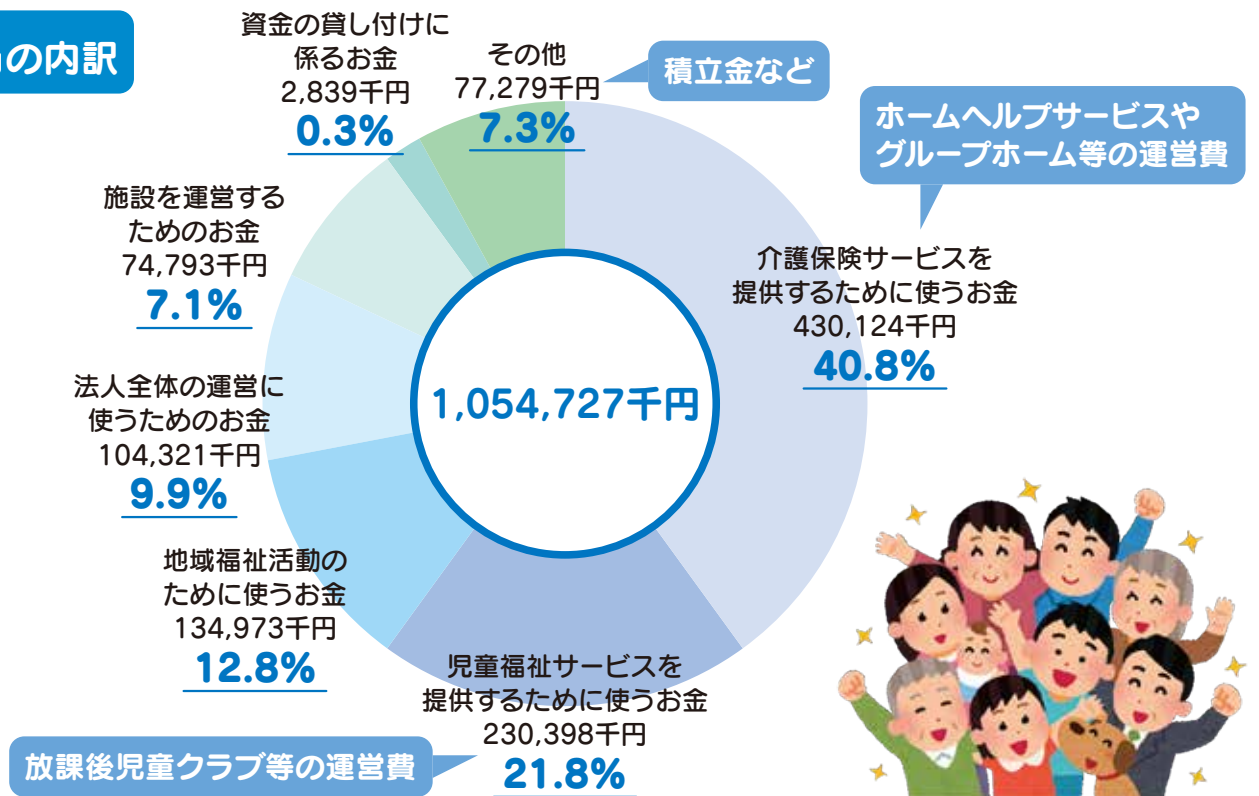
令和3年度収支予算のご報告

皆さんからご協力いただいた会費や寄附金、奥州市や岩手県社会福祉協議会からの補助金委託金等を活用して、誰もが心の豊かさと幸せを実感できる「福祉のまち奥州市」をめざして活動します。

収入の内訳



支出の内訳



※前期末支払資金残高155,254,516円+(収入-支出)=当期末支払資金残高155,518,516円

令和3年度予算の詳細は市社協ホームページからご閲覧いただけます。 <http://www.oshu-shakyo.jp/>

令和3年度奥州市社会福祉協議会の組織と機構

本所と地域拠点の効果的な運営を図るため、事業推進体制を見直し、令和3年度より新たな機構でスタートしました。

総務財政課（旧総務企画課）、地域福祉課、生活応援課（新設）、こども福祉課（新設）、介護事業課（旧在宅福祉課）の本所5課体制に再編し、より効果的・効率的な組織運営をめざします。



アナタと私のフクシのあした

奥州市社協では皆さんの力をいただき、住みやすいまちづくりを進めています。

市社協では「福祉のまち奥州市」をめざすために、地域福祉活動に関心を持っていただくとともに住民参加によるささえあい活動に取り組んでいます。より多くの皆さんに住みやすいまちづくりのサポートをお願いしたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

このような事業、運営などに使われています。

- 各地区の福祉活動費
- 各地区の福祉団体活動費
- ひとり暮らし高齢者のための昼食会開催運営費
- ふれあいきいきサロン活動、運営支援
- 法人運営費
- コミュニティソーシャルワーカーの配置
(地域での様々な福祉課題の解決にあたります)
- ボランティア・市民活動センターの運営費
(ボランティア連絡協議会の活動支援)

- 一般会員 (会費900円) 市内各世帯
- 施設団体会員 (1口2,000円)
市内の福祉施設、団体等
- 賛助会員 (1口5,000円) 市内法人・事業所
- ささえあい協賛金 (1口1,000円)
※ささえあい協賛金は全額、各地域の事業に
配分します。



心温まる寄附金をお寄せいただきました 2,317,462円 (令和2年12月1日～令和3年3月31日受付分)

- 《水沢》 石川絹子 伊藤直衛 永薬品商事(株) NTT OB会 会長 及川建一
千友会 会長 村上千代 菊地恒夫 (有)ケー・マート 後藤文子 高林シン
千田和典 千田勝二 東亜リース(株) フードパワーセンターバリュー水沢店
フジダンススクール 藤栄雄 舞草恒子
財団法人水沢ロータリー青山社会奉仕事業団 理事長 及川高志 匿名1名
- 《江刺》 小野寺和子 川原町青年会 矢作恭一
- 《前沢》 匿名1名
- 《胆沢》 阿部雅守 岩淵和夫 岩淵孝幸 佐々木久 佐藤昌典
(有)菅原建設 代表取締役 菅原孝 高橋幸美
田んぼイルミネーションプロジェクト 代表 小野寺勇輝 千葉アサコ

(敬称略)

温かいご支援ありがとうございました。

infomation

—おしらせ—



令和3年度心配ごと相談所

市民の福祉や生活に関するあらゆる悩みを相談できる窓口として、心配ごと相談所を開設しています。暮らしのことや仕事のこと、人間関係など日常生活の様々な相談に、経験豊富な相談員が悩みごとの解決に向けて親切に応じます。

- ▼開設日時 毎月第2金曜日 午前9時～正午 ※8月、2月は第3金曜日開設予定
- ▼開設場所 奥州市総合福祉センター
- ▼利用方法 電話にて予約いただくか、直接お越しください。
(予約者が優先になりますので、予約なしで来所いただいた場合はお待ちいただく場合があります。)
- ▼相談料 無料
- ▼問合せ 市社協生活応援課 ☎25-7171

くらしとこころの総合相談会

暮らしの困りごとや心配ごとはありませんか？

相談会では、専門家が直接相談をお受けします。相談の内容によっては、専門家が連携して問題解決のお手伝いをします。秘密は厳守します。

- ▼開設日時 令和3年6月15日(火) 午前の部 午前10時30分～午後0時30分
午後の部 午後1時30分～午後3時30分
- ▼会場 水沢メイプル地階(奥州市民活動支援センター)
- ▼相談内容 法律、仕事、相続・登記、資金貸付、介護・生活、権利擁護、障がいのことなど
- ▼申込締切 6月4日(金)
- ▼相談料 無料
- ▼問合せ 市社協生活応援課 ☎25-7171

奥州市ファミリーサポートセンターまかせて会員講習会

ファミサポの講習会に参加してみませんか？

奥州市ファミリーサポートセンター(通称/ファミサポ)では、「おねがい会員」のお子さんを安心安全に預かるために「まかせて会員講習会」を開催します。「まかせて会員」として登録していない方でも、ファミサポの活動に関心をお持ちの方は参加可能です。

お孫さんの預かりにも役立つ内容です。この機会に気軽にご参加ください。

「保育をするために知っておきたいこと」

講師：奥州市子育て総合支援センター所長、助産師

6月14日(月) 午前10時～正午

会場：前沢健康管理総合センター

6月22日(火) 午後1時30分～午後3時30分

会場：奥州市総合福祉センター

6月29日(火) 午前10時～正午

会場：江刺総合コミュニティセンター

「100均グッズで楽しく遊ぼう！」

講師：奥州市子育て総合支援センター所長

7月6日(火) 午前10時～正午

会場：奥州市子育て総合支援センター「こころ」

▼申込締切 6月11日(金)

▼申込み・問合せ 奥州市ファミリーサポートセンター本部 ☎25-6309



新型コロナウイルス感染症の拡大動向により、参加者や会場の状況等を考慮し、行事を延期または中止することがあります。



社協のおしごと

奥州市社会福祉協議会では、5課32事業所の約320人の職員が働いています。このコーナーでは、市民の皆さんに社協職員の仕事の内容を知っていただけるよう事業所を紹介していきます。

職場① 生活応援課



Q 生活応援課の職員は何名ですか？



生活支援員も含めて、
合計で52名です。

Q 生活応援課はどのような課ですか？

現状の制度やサービスでは解決できない住民の個別ニーズをすくい上げ、行政や地域と連携しながら、困りごとを抱える人へ必要な支援を行う相談援助事業の統括課として新設されました。課内に専門の3つの事業所があります。

Q 具体的にどのような仕事をしていますか？

生活応援課は、新型コロナウイルス感染症の影響でニーズが増大している生活福祉資金貸付の窓口や一時的な低額の貸付、複合的な悩みのワンストップ解決をめざす総合相談会を行っています。**権利擁護あんしんセンター**は、認知症や障がいにより判断能力が不十分な方の権利を守るため、日常生活における金銭管理などの支援（日常生活自立支援事業）や財産の保護に係る支援（法人後見事業・成年後見のサポート）を行っています。**くらし・安心応援室**は、生活に不安や心配を抱える方に対し、就労に向けた支援や家計立て直しのアドバイスなど、相談者一人ひとりの状況に合わせて、相談者に寄り添った支援を行っています。**地域包括支援センター（みずさわ中央・えさし南）**は、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの専門職が連携をとりながら、高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるように、介護サービスや福祉、医療、権利擁護など、様々な側面から総合的に支援を行っています。



権利擁護あんしんセンター
水沢南町5-12 ☎25-7171



くらし・安心応援室

水沢字横町2-1 ☎47-4546



包括みずさわ中央

水沢南町5-12 ☎25-6185



包括えさし南

江刺岩谷堂字下惣田290-1 ☎31-2700

奥州市社会福祉協議会			連絡先	
総務財政課 25-6158	地域福祉課 25-6188	水沢支所 25-6025	江刺支所 35-8081	前沢支所 56-2148
胆沢支所 46-3111	衣川支所 52-3144	生活応援課 25-7171	こども福祉課 25-6158	介護事業課 51-1181